

## 第155回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成24年2月23日(木) 11時～

2. 開催場所 岩手朝日テレビ 3階 会議室

3. 委員の出席

委員総数 7名

出席委員数 6名

委員長	増子 義孝
副委員長	村田 久
委員	小田島 利昭
委員	そのだ つくし
委員	弭間 俊則
委員	田口 幸雄

欠席委員数 1名

委員	笠川 さゆり
----	--------

4. 会社側出席者

代表取締役社長	富永 健治
取締役	小椋 和雄
取締役	小林 直紀
取締役	長生 正広
報道制作局部長	鈴木 敦
編成業務局長兼放送番組審議会事務局長	落合 成範
番組審議会事務局	佐藤 清一

## 5. 番組合評

「IAT スーパーJチャンネル」

2月8日（水）午後6時17分～6時56分放送

## 6. 内容

岩手朝日テレビの第155回番組審議会が開かれ、2月8日に放送した夕方のニュース番組「IATスーパーJチャンネル」を合評しました。

出席した委員からは

「県内初のバーチャルスタジオからの放送は、その特徴を生かした番組作りとなっていてテンポがあり見やすく安心感がある」

「番組内で内容を説明するテロップ文字は、高齢の視聴者にも親切な作りで好感が持てる」

「仮設店舗で営業する店を紹介する企画コーナー『湯気の向こうに』では、店主らの津波に負けないというメッセージがうまく引き出せていて良かった」

「MCのアナウンサーがスタジオで感想などを述べる時、BGMの音が大きく聞き取れない場合がある。無音でも良いのではないか」

「物産展からの中継でアナウンサーが食べ物を紹介する際、口に食べ物が残った状態で話をするのは見苦しい」

といった意見が出されました。

以上です。